

【第12号】(2016年9月13日)

兵庫県知事への要望(8/18)

兵庫県町村会会長・戸田善規多可町長をはじめ県内12町長は、平成29年度の兵庫県予算及び施策に関する要望をとりまとめ、8月18日県庁を訪れ、町財政基盤や医療・介護・福祉対策などの拡充強化、防災・減災対策の充実など13項目を盛り込んだ要望書を井戸敏三知事と藤田孝夫県議会議長に提出した。



戸田会長のあいさつに続いて、政務調査委員会委員長・清水ひろ子播磨町長が要望内容について説明を行ない、要望書を手渡した。

「医療、介護、福祉対策」「公共交通の利便性の向上」「水道施設の耐震化対策」等については、県による支援の拡充を要望するとともに「地方創生推進交付金の採択要件緩和」「国民健康保険への財政支援」等について国に働きかけられるよう12町で協議を重ねてきた13項目の実現を求めた。

井戸知事から、「要望を真摯に受け止め、これからの予算編成や施策立案に反映させていきたい。国に対しても積極的に働きかけていく」と伝えられた。